
脱出不可

麻未夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

脱出不可

【Nコード】

N2925P

【作者名】

麻未夢

【あらすじ】

理由も分からないまま拉致され山小屋に監禁された男性。ドアは施錠されておらず、見張りもない事に気づき、脱出する。だが、どうして簡単に逃げる事が出来たのかとの疑念が沸き、とうとう身動きが取れなくなる。

いったいどういう理由で連れてこられたのだから解らないまま、俺はその山小屋から逃げ出した。

鍵なんて掛かっちゃいなかったし、見張りも立ってない。逃げようと思えば、俺はいつだって逃げられていた。なのにそれに気づかず、一週間もおとなしく閉じこめられていたことに、俺は苛立ちを感じる。

だが、せっかく逃げ出しはしたものの、辺りに人工の光など皆無で、それだけでなく、ここがどこだか全く解らない山の中である以上、下手に動くのは危険だ。

もつとも、明るくなつたとしても、大して状況が好転するわけでもない。

見張りは立っていなかったが、少なくとも明日の朝には朝食を運んでくる奴が俺の不在に気が付く。そうしたら、すぐに搜索が始まるはずだ。

なら、少々危険でも、できるだけ山小屋から遠ざかっておいた方が良いに違いない。

それに、遠くの方に、民家の物と思しき灯りが幾つか見える。あそこまで逃げられたら、そこで警察を呼んでもらえば良い。

俺は意を決して、山を下りかけた。だが、

——あれが民家じゃなくて、俺を拉致した奴らのアジトだったらどうなる？

不意に、そんな疑念が沸いてきて、俺は身動きがとれなくなった。もし、閉じ込められていた筈の俺が、そこにノコノコと入っていたら、一体どんな目に遭わされるか解つたものじゃない。

これまで、特に危害を加えられることもなく、食事も三食きっちり与えられてきたが、従順さを失った俺に対して、その寛大さが失われるなんて事態に陥る可能性だって無いではなかった。

いや、そもそも施錠もせず、見張りも立てていないという段階で、俺は疑念を持つべきだったのではないだろうか。

—— 何か目的があって、俺が逃げるのを待っていたんじゃないだろうか。

俺の脳裏に、映画や漫画で見かけた『人間狩り』という言葉が浮かぶ。

逃げまどう獲物を銃で撃ち殺し、それを楽しむ。あくまでもフィクションの世界ではあるが、現実になんという人間がいらないとは言えない。俺は思わず背後を振り返り、そこに銃を構えた人間が立っていないことを確認しないではいられなかった。

ひとまず、誰もいない事に安心しつつも、だが、何があるかは解ったものじゃない。

俺は、せっかく逃げ出してきたものの、このまま戻った方が良い気がしてならなかった。

一週間、何もされなかったのだ。

どういう理由で拉致され、山小屋に閉じ込められていたのかは知る由もないが、少なくとも危害を加える気はないのだろう。

なら、敢えて危険を冒してまで、相手の機嫌を損なう必要は無いんじゃないか。

「……戻ろう」

俺は、決断した。

一ヶ月経ち、二ヶ月が経っても、俺は山小屋から解放されることはなかった。

ドアは相変わらず施錠されず、見張りも立っていない。

だが、俺はあのドアの向こうに行く事はおろか、今はもう側に近づくことすら出来ないでいる。

あの日、俺は勇気を出して山を下り、民家のドアを叩くべきだった。

た。

もう二度と、俺はあの日に感じた疑念を捨て去る事なんてできないし、疑念を持ったまま、この小屋から出ていくことも出来ないのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2925p/>

脱出不可

2010年12月4日15時08分発行